



子どもかるた大会でせたなの子どもたちが 17回連続の北海道大会出場

1月11日（日）にせたな町で開催された「せたな町子ども連子どもかるた大会」で勝ち上がったジュニアの部上位2チーム・小学生の部上位4チーム・中学生の部、上位2チームが、1月18日（日）に上ノ国町で開催された「第36回檜山子連子どもかるた大会」へ出場。そのなかで小学生の部で優勝・第3位に入賞した2チームが北海道大会への代表権を獲得し、せたなの子どもたちは17年連続となる北海道大会出場出場を決めました。

出場権を獲得した代表2チームは、2月22日（日）に定山溪ビューホテルで開催された第18回北海道子どもかるた大会（北海道大会）へ出場し、1回戦に勝利したものの、上位進出した強豪チームとの対戦となり残念ながら2回戦で敗退しました。

下の句歌留多は、集中力と忍耐力を備えるとともにチームワークが必要な競技です。子ども達は冬期間の練習・大会を通じ大きく成長しました。

交通安全・生活安全安心を祈願した 「雪だるま」がせたな警察署前に登場

2月18日（水）、せたな警察署前に交通安全・生活安全安心祈願雪だるまが登場しました。

これは、交通安全と暴力追放の願いを込め制作されたもので、交通安全・生活安全安心大雪だるま作成実行委員会（委員長 井上義章）、また安全運転管理者協会・暴力追放推進協議会などが協力し3日間かけて制作しました。

今年は、北檜山幼稚園年長組の9人が参加し、雪だるまに目を入れ完成となりました。



平成26年度自衛隊入隊予定者激励会を開催 せたな町から2人が入隊

2月24日（火）、高齢者センターで平成26年度せたな町自衛隊入隊予定者激励会（せたな町・せたな町自衛隊父兄会主催）が開催されました。

この激励会は、毎年、せたな町からの自衛隊入隊予定者を激励するため行われているもので、今年は春から入隊を予定している関谷大翔さん、助石樹生さん2人を激励するため開催されました。

この日は、保護者のほか高野副町長、立花檜山振興局長、自衛隊函館地方協力本部の別府本部長ら関係者が出席。会では、別府本部長より2人へ激励とお祝いの言葉をいただくなど、出席した家族や関係者らで入隊予定者を激励しました。

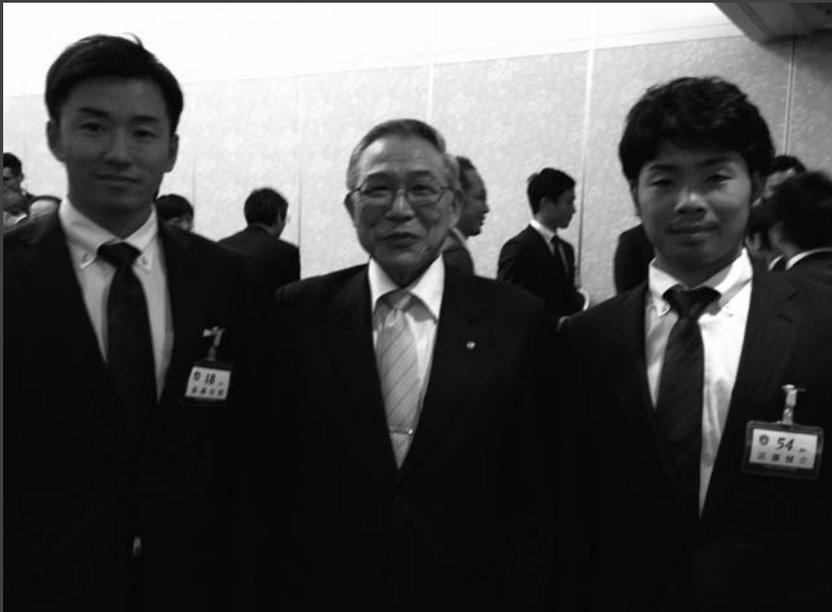
北海道179市町村応援大使決起集会・激励会 18市町村が一同に集う

3月2日（月）、札幌パークホテルで開催された日本ハムファイターズ北海道179市町村応援大使決起集会及び激励会に高橋町長が出席しました。

この決起集会は、2015北海道日本ハムファイターズ応援大使が決まった18市町村の代表者と応援大使（選手）が一堂に会して健闘を誓うもので、選手会長の大野奨太選手の決意表明のほか、18市町村を代表して新篠津村長のあいさつや記念撮影などが行われました。

引き続き大勢の関係者が参加して開催された北海道日本ハムファイターズ激励会では、町からの応援VTRの上映が行われるなど、シーズンの活躍に向けたさまざまな応援や催しが行われました。

激励会では、2015せたな町応援大使の齋藤選手・近藤選手と高橋町長が対面しあいさつする場面もあり、2人を直接激励しました。



檜山地域青年林業士認定証交付式 町で3人目の青年林業士が誕生

3月5日（木）、役場応接室において檜山地域青年林業士認定証交付式が行われました。

青年林業士とは、将来の森林管理・育成を担う人材を育てるため、地域の森林づくりに強い熱意と意欲にあふれ、指導力のある後継者（50歳まで）を「青年林業士」（全道154人・檜山管内8人）として認定し、森林経営の維持や活性化を図るものです。

このたび、せたな町北檜山区で林業を営む熊澤峰晴さん（38歳）がせたな町で3人目（檜山管内9人目）となる檜山地域青年林業士に認定され、この日、立花檜山振興局長より認定証が交付されました。



瀬棚区で不発弾騒ぎも安全が確認され安堵 近隣住民18人が一時避難

3月4日、瀬棚区本町6区の空き地で不発弾のような金属が見つかり、付近の14戸の住民18人が一時避難する騒ぎとなりました。

調査の結果、問もなく不発弾ではなく安全が確認されたことが分かったため、避難された住民の皆さんは1時間半後に帰宅しました。

現場は解体された道の水産関連施設の跡地で、直径6センチ、長さ33センチの円すい形の緑色に塗装され、後部が尾翼状になっている金属を業者が整地中に地表近くの地中から発見し4日にせたな警察署へ連絡しました。

その後、警察署より陸上自衛隊第11旅団（札幌）へ金属の画像を送って分析を依頼。付近の道路は通行止めとし、安全確保のため近隣に居住していた住民の皆さんはやすらぎ館へと避難しました。その後、金属の用途は不明ですが、砲弾でないことが分り、1時間半後に避難が解除されました。